

奄美・沖縄 世界自然遺産登録へ！ —奄美群島の自然をイメージしたマスクを配布—

鹿児島県旅客船協会（会長：有村和晃・マルエーフェリー(株)社長）は、奄美の島々を結ぶフェリーの利用促進のために、2021年6月1日（火）より「鹿児島～奄美群島～沖縄航路」の利用者に、世界自然遺産登録を控えた「奄美群島」の自然をイメージしデザインしたマスクを無償で配布します。



オリジナルマスク配布の経緯について

今年5月10日、国連教育科学文化機関（ユネスコ）の諮問機関である国際自然保護連合（IUCN）が、「奄美大島、徳之島、沖縄島北部および西表島」を世界自然遺産への登録をするよう勧告したことで、今年7月に予定されているユネスコ世界遺産委員会の審査による正式決定が目前に迫ったことから、「奄美大島」、「徳之島」、「沖縄島」を結ぶ「鹿児島～奄美群島～沖縄航路」のPR及び利用促進のために、「奄美の自然」をイメージしたオリジナルマスクを、マリックスライン(株)及びマルエーフェリー(株)が運航するフェリーに、鹿児島新港・名瀬港（下り便）・那覇港から乗船された方へプレゼントします。

デザインは全部で3種類（配布予定枚数12,600枚：各種4,200枚ずつ）あり、それぞれ「南国の植物」、「癒しの海」、「船旅ロゴ」をモチーフにしています。

配布は、2021年6月1日（火）よりお一人様1枚を配布します。

（※幼児は対象外 ※デザインは選べません。配布は、在庫数がなくなり次第終了します。）

また、奄美海運(株)の「鹿児島～喜界～知名航路」などでも、配付します。



【マスク着用のイメージ】



鹿児島県旅客船協会よりコメント

「世界自然遺産登録を控えた奄美群島への船旅を楽しんでほしい。

今回のマスク配布を通じて、利用者が安心して乗船できるように、新型コロナウイルス感染症対策を行っていることも知ってもらえる機会としたい。」



【フェリーの新型コロナウイルス感染症対策】